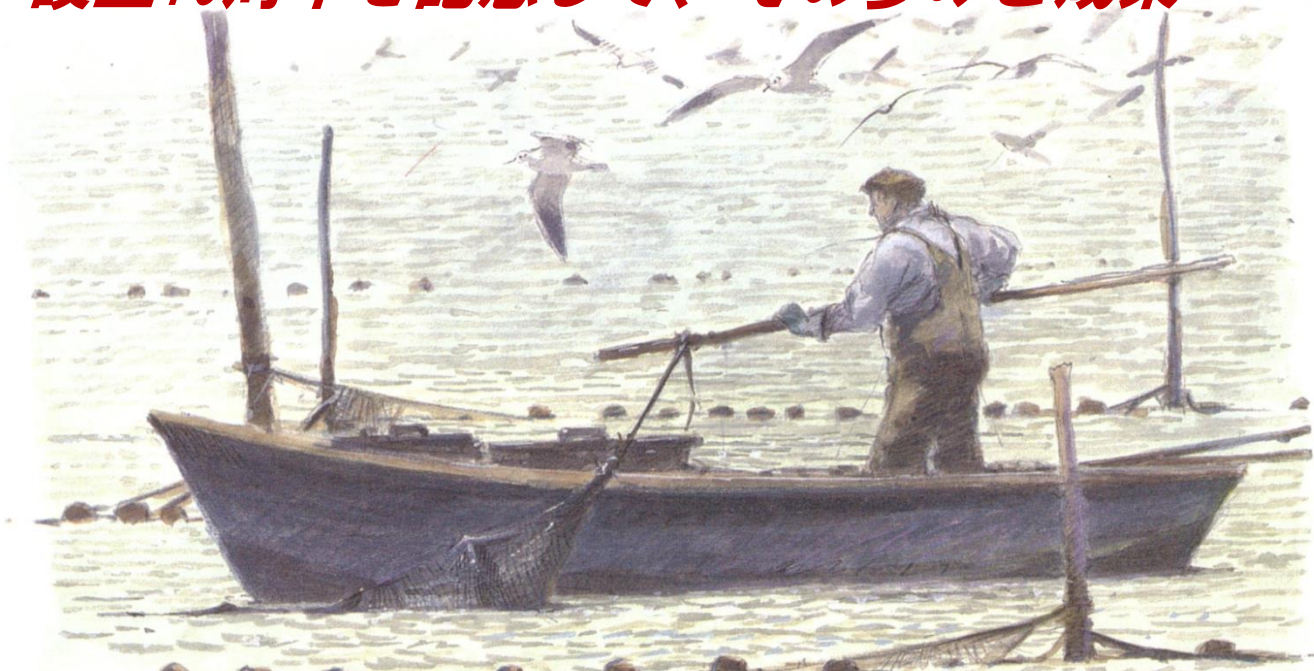


瀬戸内海エコツーリズム協議会活動報告

設立10周年を記念して、その歩みと成果



**一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会
理事長 上嶋 英機**

瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長

一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会

10周年を迎えて

- 2010年10月設立、その背景
- エコツーリズムの政策と経過
- エコツーリズムの意義と貢献
- 瀬戸内海でのエコツーリズム実施内容と成果



日本のエコツーリズム推進活動の経緯



- 1996年 西表島で**日本初のエコツーリズム協会**が設立
- 1998年 日本エコツーリズム推進協議会設立 (現・NPO日本エコツーリズム協会)
代表的な管理サイト: 知床、西表、小笠原、屋久島の活動
- 2002年 自然再生推進法の成立
- 2004年 環境省エコツーリズム推進事業開始
- 2007年 **「エコツーリズム推進法」**成立
エコツーリズム推進全体構想認定(2014年推進)
エコツーリズム大賞の認定
→ **「観光立国推進基本計画」**
国土交通省・ニューツーリズム創出事業開始
- 2010年 **生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)**
「愛知ターゲット」 → **エコツーリズムの促進**
- 2015年 瀬戸内海環境保全特別措置法の改革(瀬戸内法)
「自然景観及び文化的景観の保全」
エコツーリズムの推進が柱の一つに
- 2016年 **国立公園満喫プロジェクト** 2020年に5ヶ所
ジオパーク, 世界遺産の活動への貢献

**新・瀬戸内法
4本の柱**

■自然景観
文化的景観
の保全

エコツーリズム

教育・学習

自然体験

原風景

■沿岸域の環
境の保全
再生・創出

豊かな海に

■水質の保全
管理

■水産資源の
持続的利用の確保

場の保全
藻場、干潟
底質、窪地環境配慮
型構造

流入負荷
流入栄養塩
栄養塩管理

日(日)

享年 日 業斤 屋早

1892年3月11日第3種郵便物認可 ©朝日新聞社 2018年 47625号(日刊)

最後の住人の中上裕陽さんが島を浅したに沿った岡山県瀬戸内市、小玉重漁港



去りゆくひと 死んでゆく島

老いる国はどこに向かうのか

その島は、ひとが足を踏み入れるのを拒んでいるようだった。

瀬戸内海に浮かぶ岡山県の黒島は、本州からわずか1・5km先。小舟をチャーターして5分、浜辺には小型船が放置されていた。水をかぶり、エンジンがさびて赤茶けている。最後の住人となった中上裕陽さん(85)のものだった。2カ月前、ここを去った。

島をめぐる取材をした7年前、「お迎えがくるまで、島の面倒を見る」と語っていた。この島に生かしてもらった。先祖の墓を、神社を、守りたいのだと。だが、体力が衰え、船の乗り降りが難しくなった。10月に瀬戸内市の本州側に移り、一日のほとんどもをテシの前で過ごす。

無人になった島は草木が伸び放題だった。キャベツ畑は荒れ、長靴とタオルが干したまま残されていた。海を見渡す高台に出た。6基の墓が並ぶ。墓石がま



い。土台だ。キクは赤や失い、こうに埋もれる。年の瀬、30人ほどがちつきをした。この12月、先に島を去った。保蔵さんら墓石を運ぶ元住民と「島のこけんとすわ、本州側の見えろ。生かされていける。もう、後戻りできない。国が指定計255。今後30年で性がある。島だけでとされる村ら車で約2群馬県南れた195万を超えて。875人。総面積のめ、コンニで栄えた。で平也でも

2018年(平成30年)
12月30日
日曜日

天気	6	9	12	15	18	21(時)	9
東京	☀	☀	☀	☀	☀	☀	0
横浜	☀	☀	☀	☀	☀	☀	0
千葉	☀	☀	☀	☀	☀	☀	10
さいたま	☀	☀	☀	☀	☀	☀	10
札幌	☁	☁	☁	☁	☁	☁	70
仙台	☀	☀	☀	☀	☀	☀	30
名古屋	☀	☀	☀	☀	☀	☀	0
大阪	☀	☀	☀	☀	☀	☀	10
福岡	☁	☁	☁	☁	☁	☁	30



朝日新聞東京本社 本日の編集長=佐野哲夫
〒104-8011東京都中央区築地5-3-2 電話03-3545-0131 www.asahi.com

都市研究の都市大
東京都市大学
2019年に創立90周年を迎えます

オピニオン&フォーラム・社説・声
社説 安倍政権の2018年 責任とらぬ悪例残す
7面

色丹島民 日本への思いは

日口首脳が日ソ共同宣言を基礎に交渉することで合意し、色丹島民が揺れている。ロシア人助手を派遣し

クリル人墓地

島の人口を減らす 2. 島を上手に減らす 3. 島の人口を減らす

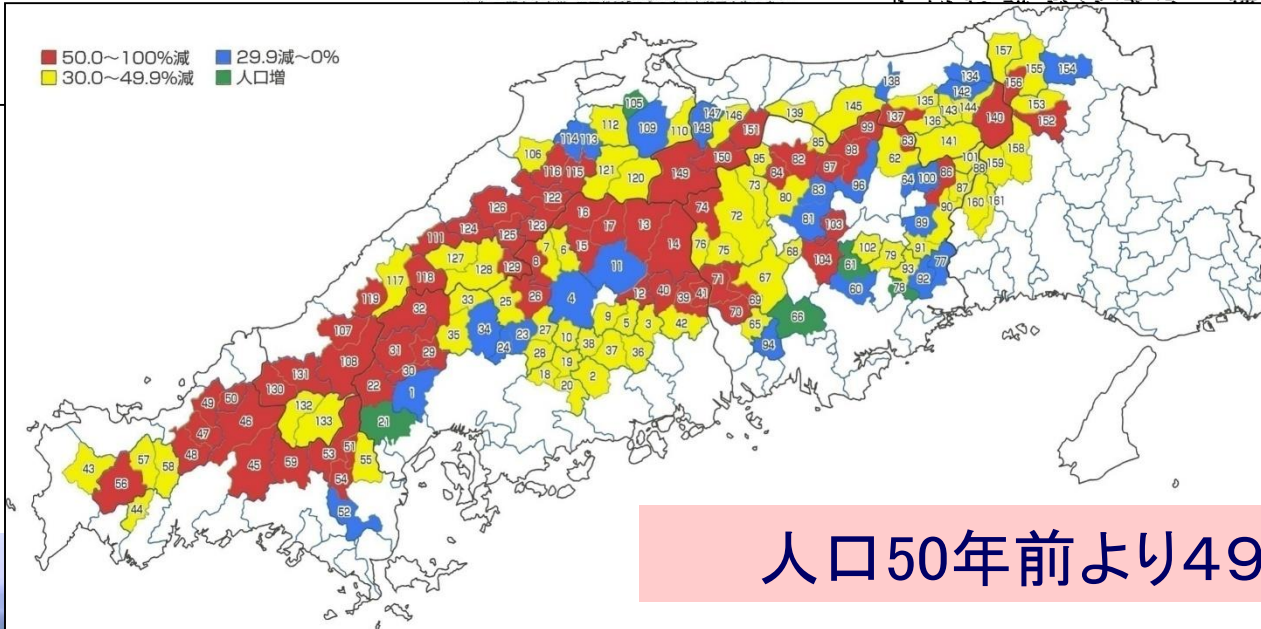
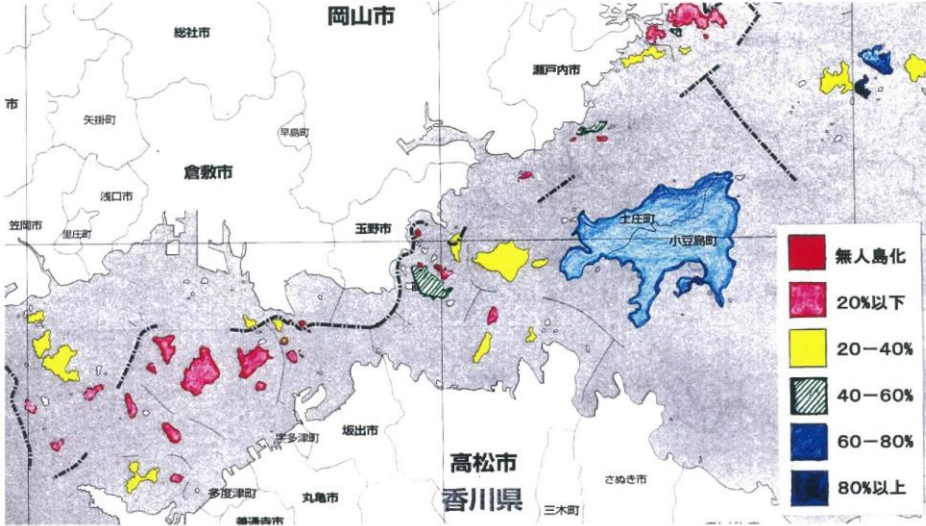
広島・山口県 国勢調査

広島、山口両県などが発表した2015年国勢調査の速報値は、中国地方で人口減少が加速している実態をあらためて浮き彫りにした。中国山地や島に位置している自治体で、大きな減少率が目立つ。各県は、国の地方創生に呼応して策定した地方版総合戦略などに基いて対策を強め、減少幅の抑制を目指す。目標達成のハードルは高い1面関連。

のは明らかだと危
あらわにした。
県の総合戦略では
度までの5年間で達
基本目標に「若者向
千人の雇用創出」な
定。有効な手だてを
ければ60年に81万人
と想定する県人口は
1万人を維持するこ

山間・島しょ部過疎進む 目標達成は高い壁

瀬戸内海東部の島嶼の50年間の人口変動
(1955~2005年 1955年を100とした割合)



人口50年前より49万人減

- ・ **マスツーリズム**

大量送客、大量消費型の観光

- ・ **エコツーリズム**

地域の個性、個人志向の観光

- ・ グリーンツーリズム 農業体験
- ・ ブルーツーリズム 漁業体験
- ・ フォレストツーリズム 森林体験

- ・ **ジオツーリズム**： ジオパークでの体験

- ・ **サステイナブルツーリズム**

持続可能な環境資源の保護 **SDGsに対応**

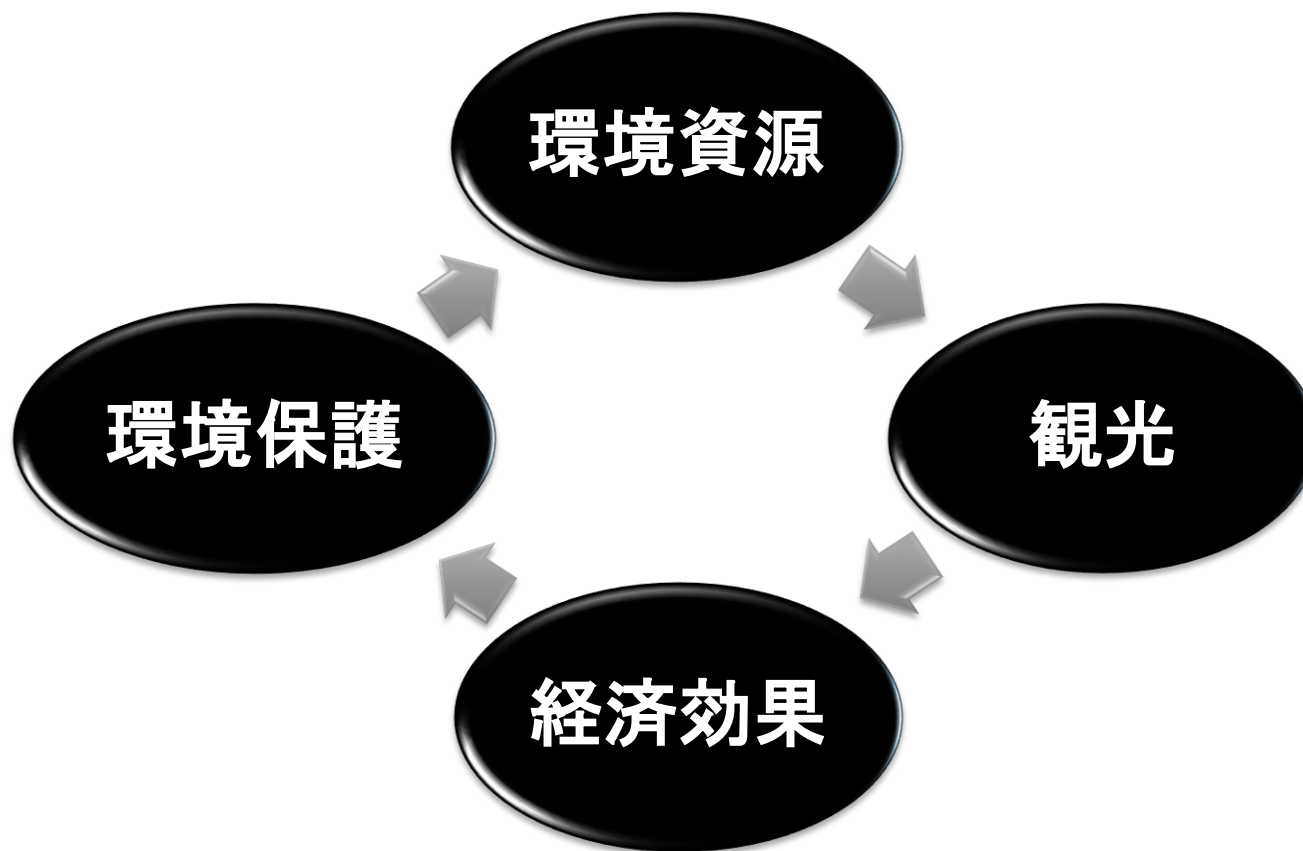
- ・ **マイクロツーリズム**

自然環境や歴史文化を**体験**し、**学ぶ**とともに、
地域の自然環境や歴史文化の**保全に責任**を持つ
観光のありかた。

『**自然に基づいた活動**』であり『**教育的**』で
あり『**持続可能**』でなければ、エコツーリズム
とは言えない

◆ **資源の保護 + 観光立地 + 地域振興**

エコツーリズムとは



自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の**保全に責任を持つ観光**のありかた。

- 瀬戸内海の島嶼部の活性化
- 島嶼部の無人化、過疎化を防止
- 地域文化の継承と参加
- 生物多様性の実態把握と保全・継承
- 国立公園の利活用と管理に貢献
- 地域の環境資源の認識(ブランド化)と活用
- 環境観光産業としてのビジネス・雇用促進

2010年10月設立 理念と目的

この協議会では、「瀬戸内海の生態系景観を見つめ自然と文化を探り、多様な自然を守る」ことを理念としたエコツアーを構築し実践し、自然環境の保全、地域コミュニティの振興、新たな観光ビジネスの振興を目的する。

エコツアーを通じて、地域環境（生態系景観）のあり方を考え、その保全・再生に取り組み、生物多様性の確保を目指す

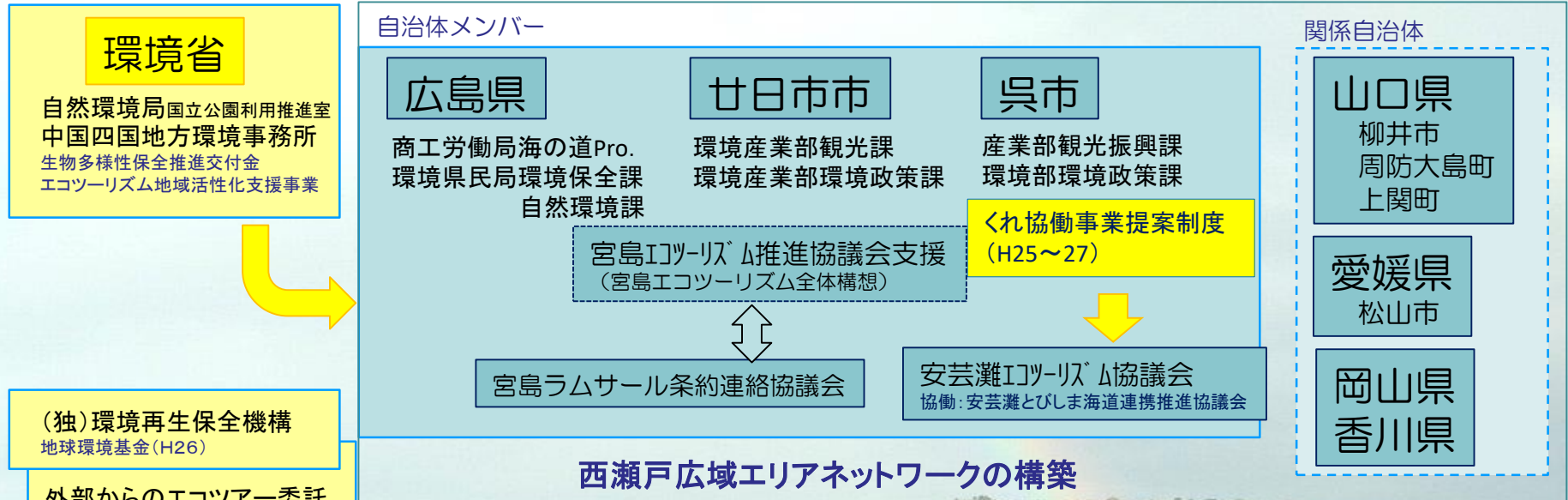


瀬戸内の自然環境と歴史・文化を学ぶエコツアーの実施



瀬戸内ツーリズム推進協議会

2011年設立



一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会 2010年設立

- ① エコツアー構築事業
- ② 人材育成事業
- ③ インフラ整備計画事業

- 瀬戸内海におけるエコツーリズムの確立
- 事業化支援
- 継続的な人材育成

理事長・顧問・正会員・賛助会員
(約20団体・個人)
旅行関連業、調査コンサル業、
メディア関係、NPO、学校関係...



◆ エコツアーの構築事業

- 瀬戸内海におけるエコツーリズムの確立
- 外国人旅行者向けのエコツアー開発
- 国内旅行者向けのエコツアー開発



◆ 人材育成事業

- エコ塾の開校
- エコツーリズムフォーラムの開催



◆ インフラ整備計画事業

- 情報ツールの整備
- 未利用施設の活用(拠点整備)



◆ 推進体制の整備・強化、ルール・推進マニュアル作成

- “西瀬戸広域エリア”のネットワークの構築
- エコツーリズム推進全体構想の策定



・ エコツーリズム・コンサルタント & コーディネーター

瀬戸内海のエコツーリズムのコンサルタントとコーディネーターとして、**自然環境の保全、地域コミュニティの振興、新たなツーリズムの振興**に取り組む。

地域に潜在する魅力をエコツアーのコンテンツとして発掘し、地元の方々、自治体、旅行社等をつなぐネットワークづくりを行いながら、エコツーリズムを浸透させ、地域活性化と環境保全につなげている。

**「瀬戸内ツーリズム推進協議会」事務局の運営
「宮島エコツーリズム推進全体構想」の活動をサポート。**

・2020年に設立10周年を迎えて、

- 2010年の設立以来、継続して**エコツアー**、**エコツーリズムフォーラム**、**エコ塾**、**スナメリ目撃情報の収集・情報発信**を12年にわたって実施してきた。（ホームページで紹介）
- 10周年を迎えた2020年には、**離島・大崎上島**における**エコツアー**、**スナメリ**のドローン撮影等を実施。
- コロナ禍の2021年度の活動も、
 - ①環境省「**国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業**」の一環として宮島で実施した。
 - ②観光庁「**誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成に向けた実証調査**」事業として、八木灘で**エコツアー**を実施。同海域についての**オンラインフォーラム**も開催した。
- 2022年度は、宮島で季節と文化を楽しむ**エコツアー**（冬・春）を実施。**エコツーリズムフォーラム**を開催し、**記念誌**を発行した。
 - **離島・無人島化の進む「八島」での「（一社）瀬戸内・エコアイランド八島」**を立ち上げの活動を行った。

まずは、大分・岡山・香川を加えた西瀬戸広域エリアでの活動



活動範囲

広島・愛媛・山口のトライアングル・エリア

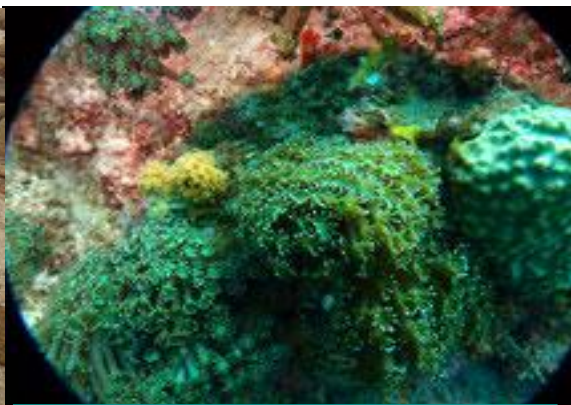


エコツアー

2010年の設立以来、
資源量調査に基づいたエ
コツアーを企画・運営。



海岸生物の観察（宮島）



グラスボートからニホンアワ
サンゴの観察（防予諸島）



漂着ごみの観察・清掃
（宮島）



忽那水軍の足跡を辿るトレッ
キング（忽那諸島）



刺し網漁・環境調査・アマモ播種・
調理体験（大崎上島）

多彩でユニークなエコツアーの
企画・運営

七浦巡り（宮島）



人材育成講座・エコ塾

三原市立木原小学校環境学習
スナメリ・ウォッチング、無人島体験（防予諸島）



大崎上島町立大崎上島小学校環境学習

2012年～2016年
安芸灘諸島エコツアー内で
講座“エコ塾”を開催（計5回）

2015年～2020年
三原市立木原小学校環境学習（年1回）

2018年～2019年
第1～3回“エコ塾”を開催

2021年
エコツアーに関する研修会を開催
（竹原市、東広島市、呉市）

2021年
大崎上島町立大崎上島小学校環境学習



第1～3回“エコ塾”

事業年度	事業名
2012年	環境省：平成24年度地域コーディネーター活用事業 広島県：瀬戸内ツーリズム推進事業
2013年	環境省：平成25年度エコツーリズム地域活性化支援事業 呉市：平成25年度くれ協働事業提案制度
2014年	環境省：平成26年度エコツーリズム地域活性化支援事業 独立行政法人 環境再生保全機構：地球環境基金助成金 呉市：平成26年度くれ協働事業提案制度
2015年	環境省：平成27年度エコツーリズム地域活性化支援事業 呉市：平成27年度くれ協働事業提案制度
2016年	環境省：平成28年度エコツーリズム地域活性化支援事業 呉市：平成28年度くれ協働事業提案制度
2017年	環境省：平成29年度エコツーリズム地域活性化支援事業
2020年	観光庁：「誘客多角化等のための魅力的な滞在型コンテンツ造成」実証事業

第1回エコツーリズムフォーラム2012

～瀬戸内海の生態系景観を見つめ、自然と文化を探り、多様な自然を守る～

第2回エコツーリズムフォーラム2013

～国内のエコツーリズム先進事例紹介と瀬戸内での活動～

第3回エコツーリズムフォーラム2014

～瀬戸内海国立公園指定80周年を迎えて～

第4回エコツーリズムフォーラム2015

～瀬戸内海からの発信！ 活力ある島々の再生に向けて～

第5回エコツーリズムフォーラム2016

～新・瀬戸内法の具現化と活力ある島々の再生に向けて～

第6回エコツーリズムフォーラム2017

地域着地型観光DMOによる瀬戸内海エコツーリズムの運用

～多様な景観と地産を「なりわい」とする元気な島々の活性化に向けて～

第7回エコツーリズムフォーラム2018

海外の旅行者の観光価値に対応した瀬戸内海エコツーリズムの創生

～海外の旅行者（インバウンド）を満足させる日本の観光のあり方について～

第8回エコツーリズムフォーラム2019

～瀬戸内海島嶼部の地域活性化に向けたエコツーリズムの戦略と役割～

島嶼部の無人島化を防ぐ「豊かな瀬戸内海」に向けた取り組み

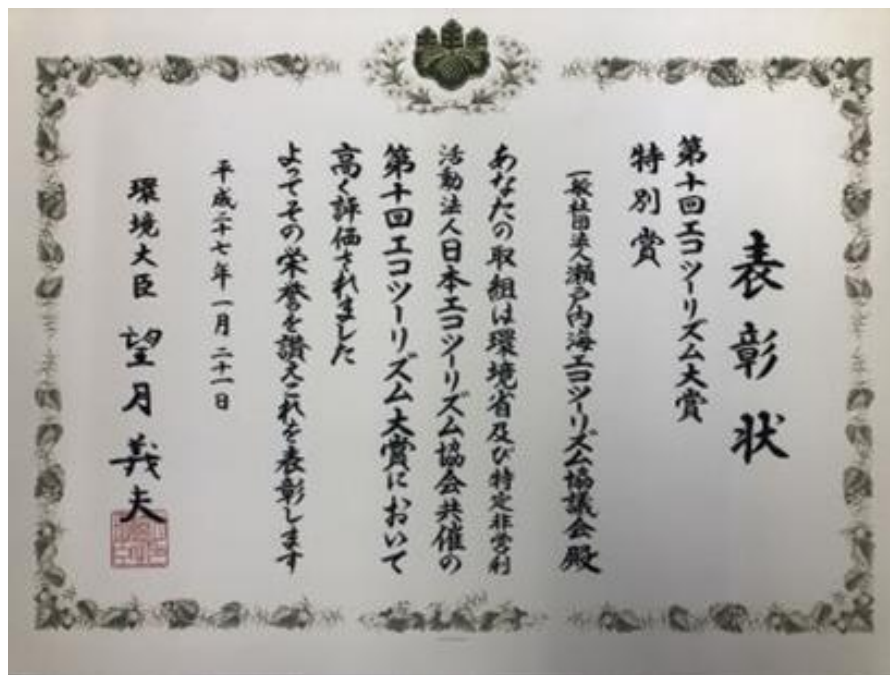
エコツーリズムフォーラム2021（ハイブリッド開催）

～観光庁／誘客多角化事業オンラインフォーラム～

“八木灘”の自然と歴史を知るフォーラム



・エコツーリズム大賞特別賞受賞 (2015年／平成27年)



主催：環境省・NPO法人日本エコツーリズム協会

「宮島エコツーリズム推進全体構想」

中国地方で
初めて認定

宮島エコツーリズム推進全体構想

エコツーリズム推進全体構想とは…

エコツーリズム推進法に則り、地域の自然環境の保全に配慮しつつ、地域の創意工夫を生かした「エコツーリズム」を推進するに当たり、(1)基本方針の策定(2)地域の関係者による推進協議会の設置(3)地域のエコツーリズム推進方策の策定(4)地域の自然観光資源の保全などの具体的な推進方策を定めたもので、エコツーリズムを通じた自然環境の保全、観光振興、地域振興、環境教育の推進を図るものです。

その認定は、環境省・農林水産省・国土交通省・文部科学省の各大臣によって行われます。



Ecotourism Promotion Council
宮島エコツーリズム推進協議会

「宮島」は、瀬戸内海の中央部に位置し、「日本三景」の1つとして国民に愛され、「瀬戸内海国立公園」、「世界文化遺産」、「ラムサール条約登録」と認定され、観光資源価値の高い自然と文化歴史が存在し、国内有数の観光地として知られています。

(2020. 9. 11)

4省による認定

環境省・国交省・農水省・文科
省

「宮島エコツーリズム推進協議会」



宮島エコツー
国から認定書
環境省で授与式

世界遺産の島・宮島(廿日市市)の環境を守りながら観光振興を図る「宮島エコツーリズム推進全体構想」が11日、エコツーリズム推進法に基づく国の認定を受け、小泉進次郎環境相から地元関係者に認定書が

手渡された。
構想は広島県や市、島内の観光協会、商工会、一般社団法人の瀬戸内海エコツーリズム協議会(広島市南区)などのでつくる推進協議会がまとめた。

環境省であった認定書授与式には推進協議会の上嶋英機会長や市職員ら4人が出席。小泉環境相は「エコツーリズムを通じた地域づくりを広く情報発信して支援する」と述べ、認定書を手渡した。受け取った上嶋会長は、植生物の観察会や船上参拝などのエコツアーの充実に向け「ガイド養成や未活用地域の資源の発掘に努める」と今後の取り組みを説明した。

エコツーリズム推進法に基づく全体構想認定状況（令和4年12月現在）



No.	市町村名	全体構想の名称
1	埼玉県飯能市	飯能市エコツーリズム推進全体構想
2	沖縄県 渡嘉敷村、座間味村	慶良間地域エコツーリズム推進全体構想
3	群馬県 みなかみ町	谷川岳エコツーリズム推進全体構想
4	三重県鳥羽市	鳥羽エコツーリズム推進全体構想
5	三重県名張市	名張市エコツーリズム推進全体構想
6	京都府南丹市	南丹市美山エコツーリズム推進全体構想
7	東京都 小笠原村	小笠原村エコツーリズム推進全体構想
8	北海道 弟子屈町	てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想
9	富山県上市町	上市町エコツーリズム推進全体構想
10	愛媛県 西条市、久万高原町	石鎚山系エコツーリズム推進全体構想
11	宮崎県串間市	串間エコツーリズム推進全体構想
12	鹿児島県 奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町	奄美群島エコツーリズム推進全体構想

No.	市町村名	全体構想の名称
13	東京都檜原村	檜原村エコツーリズム推進全体構想
14	岐阜県下呂市	下呂市エコツーリズム推進全体構想
15	群馬県前橋市	赤城山エコツーリズム推進全体構想
16	熊本県 阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村、山都町	阿蘇エコツーリズム推進全体構想
17	奈良県川上村	吉野川紀の川 源流ツーリズム推進全体構想
18	広島県 廿日市市	宮島エコツーリズム推進全体構想
19	岐阜県白川村	白川村エコツーリズム推進全体構想
20	長野県 軽井沢町	軽井沢エコツーリズム推進全体構想
21	滋賀県 東近江市	東近江市エコツーリズム推進全体構想
22	沖縄県竹富町	西表島エコツーリズム推進全体構想

2009（平成21）年以降、全国で22地域が認定されている



1. 宮島サイト
2. 防予諸島サイト
3. 安芸灘サイト
4. 大崎上島サイト
5. 八木灘サイト
6. 八島サイト



エコツアーの実績



Setonaikai
Ecotourism
Association

実施年月	ツアー名	ツアー対象者等
2012年	8月 防予諸島エコツアー	国内旅行者
	11月 宮島エコツアー	外国人旅行者
	11月 安芸灘諸島エコツアー	人材育成講座“エコ塾”
2013年	3月 防予諸島エコツアー	国内旅行者
	9月 宮島エコツアー	外国人旅行者
	11月 防予諸島エコツアー	国内旅行者
	11月 安芸灘諸島エコツアー	人材育成講座“エコ塾”
2014年	9月 宮島エコツアー	外国人旅行者
	10月 防予諸島エコツアー	国内旅行者
	11月 安芸灘諸島エコツアー	人材育成講座“エコ塾”
2015年	8月 防予諸島エコツアー	三原市立木原小学校5・6年生
	10月 宮島・似島エコツアー	外国人・国内旅行者
	11月 安芸灘諸島エコツアー	人材育成講座“エコ塾”
2016年	7月 宮島エコツアー	外国人・国内旅行者
	10月 安芸灘諸島エコツアー	人材育成講座“エコ塾”
	11月 宮島エコツアー	地理科学学会のレセプションとして
	12月 防予諸島エコツアー	国内旅行者
2017年	8月 宮島エコツアー	外国人・国内旅行者
	9月 宮島エコツアー	外国人・国内旅行者
	11月 忽那諸島エコツアー	国内旅行者
2018年	9月 宮島エコツアー	広島県環境学習指導者
	12月 大崎上島エコツアー	地域の多様な主体者
2020年	2月 八木灘エコツアー	国内旅行者
2021年	2月 八木灘エコツアー	八木灘のエコツーリズム推進の関係者
2021年	11月 宮島エコツアー	地域の多様な主体者
2022年	2月 宮島エコツアー	地域の多様な主体者
	3月 宮島エコツアー	地域の多様な主体者

【宮島サイト】コンテンツ

海からの体感ツアー

- 七浦めぐり
- 潮間帯生物・汽水域生物モニタリング
- 巨岩奇岩観察
- 海岸漂着物観察と清掃
- 海浜植物・自然干潟観察
- 河川探検
- 山道トレッキング
- 森林植物観察
- 野鳥観察
- カキ養殖見学

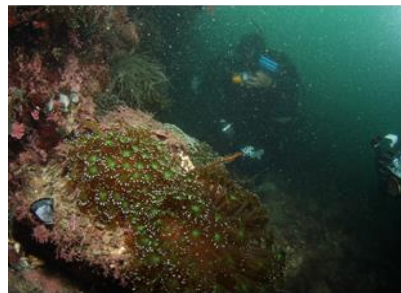
宮島の町並みと文化の体感ツアー

- 厳島神社の歴史とエピソード体験
- 神社の管理と苦勞ヒアリング
- 大聖院の歴史ヒアリング
- 砂防堰堤ヒアリング
- あせび歩道トレッキング
- もみじ歩道トレッキング
- 庭園砂防/もみじ谷公園の散策
- 町家散策



【防予諸島サイト】コンテンツ

場所	コンテンツ内容
周防大島諸島	<ul style="list-style-type: none">• 情けの瀬戸の渦潮を観察• スナメリウォッチング• 地家室と外入を結ぶ古道-往還道トレッキング• 世界最大規模の広さを有するニホンアワサンゴウォッチング• 大水無瀬島にて無人島体験として野鳥や原始的な植物の観察
忽那諸島	<ul style="list-style-type: none">• 瀬戸内海の家賊“忽那水軍”の歴史探訪• 黒岩城跡トレッキング



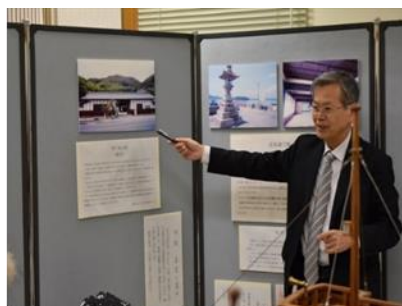
【安芸灘諸島サイト】コンテンツ

場所	コンテンツ内容
下蒲刈島	<ul style="list-style-type: none">• 女猫の瀬戸の潮流体験• 刺し網漁体験
上蒲刈島	<ul style="list-style-type: none">• 七国見山トレッキング• 梶ヶ浜海岸にてシーカヤック• かまがり天体観測館にて星空観察• 恋ヶ浜海岸にて潮間帯生物や漂着物観察
豊島の南にある斎島	<ul style="list-style-type: none">• アビ漁の歴史ヒアリング
大崎下島	<ul style="list-style-type: none">• 大長にてみかんやレモン狩り体験• 御手洗の散策



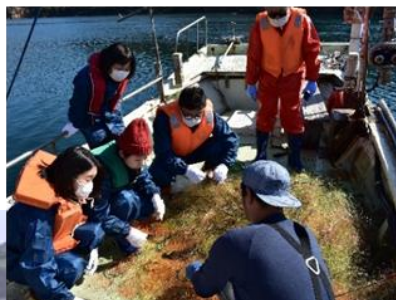
【大崎上島サイト】コンテンツ

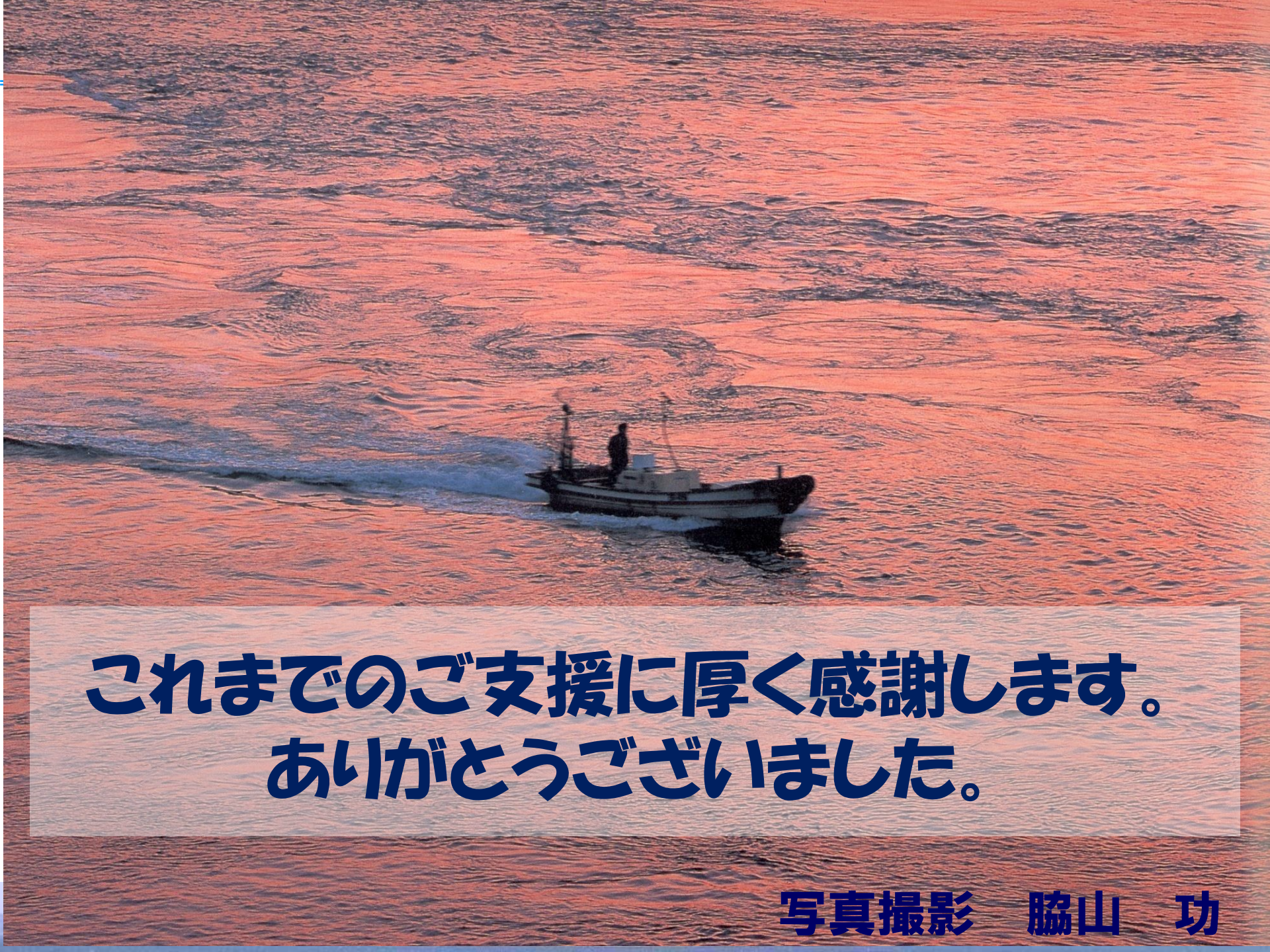
テーマ	内容
体験	<ul style="list-style-type: none">• スナメリウォッチング• 刺網体験• 水中ドローンによる漁礁観察• 生野島トレッキング
味覚	<ul style="list-style-type: none">• 地元の農水産物を販売する南の里朝市• 大崎内浦漁協にて島の味覚体験• 観光農園にてオーガニックフルーツ狩り



【八木灘サイト】コンテンツ

地域	コンテンツ内容
呉市（安浦町）	<ul style="list-style-type: none">・「グリーンピアせとうち」にて牡蠣打ち体験
東広島市（安芸津町）	<ul style="list-style-type: none">・チャーター船に乗り三津口湾や三津湾の航行・安芸津歴史民俗資料館にて歴史学習・赤崎のじゃがいも畑の見学
竹原市	<ul style="list-style-type: none">・街並み散策・藤井酒造の見学
大崎上島町	<ul style="list-style-type: none">・観光農園にてオーガニックフルーツ狩り・刺し網漁体験、水中ドローンによる漁礁観察・生野島ウォーキング、スナメリウォッチング





**これまでのご支援に厚く感謝します。
ありがとうございました。**

写真撮影 脇山 功